感動体験、太西フェスタ！ ②

今日の太宰府西中学校は、昨日実施された太西フェスタが幻であったかのように、日常を取り戻したような生活ぶりです。生徒はどのクラスも落ち着いて普通に授業を受けています。しっかりと先生の話を聞いて、問題に取り組んでいます。こういうところは「さすが」と感心させられます。

では、昨日の太西フェスタを少しだけ振り返ってみたいと思います。昨日まで、子ども達は熱心に練習に取り組みました。どのクラスも体育の授業では、より上達できるように、声を掛け合ったり、新たな工夫を提案してみたり、意欲を高めるようリーダーが意気込みを語ったりしていました。このような子ども達の姿を見ると、『仲間って良いな』と感じると共に『集団で過ごすことの大切さ』を感じます。集団の中では自分の思い通りにならないことが多々あります。それを皆で過ごしながら解決していきます。その解決の過程があるからこそ、絆が深まり、終わった後の達成感につながるのだと思います。今回の太西フェスタはそのような集団における社会性を育む良い機会になりました。子ども達は「このクラスで良かった」という気持ちを深めることができたと思います。何かの行事を行うためには、たくさんのエネルギーが必要になります。しかし苦労した分、得るものはとても大きいです。それを今回の太西フェスタで味わうことができたのではないかと思います。

なお、昨日の太西フェスタの閉会式で実行委員長が大人顔負けの立派なあいさつをしましたのでその一部を紹介します。

『今日、体験したことは、もう二度と体験することができないとても貴重なものです。今日したこと、そしてここに至るまでの過程を忘れることなく一生の思い出としてくれたら幸いです』

とても素晴らしい挨拶です。『今日』という日がどれだけ大事で価値ある一日であったか、そしてそれまでの『過程』があるからこそ、今日の価値が高まるという挨拶でした。さすが実行委員長です。陰で頑張ってきたからこそ、このような重みのある言葉が出たのだと思います。

では、今回の校長室からの最後も、実行委員長の挨拶の後半で締めさせていただきます。

『最後になりますが、貴重な放課後にブロックのために毎日練習をしてくれたブロックリーダーの皆さん、このような発表の場を設けてくださった先生方、これまでの練習についてきてくれた生徒の皆さん、ご協力ありがとうございました。今日の成功は皆さんの力がとても大きいです。これからも様々な活動への ご協力をお願いします。今日でブロックリーダーや実行委員会の活動は終わってしまいますが、これからもリーダーとして共に頑張りましょう』

【熱く燃えた、思い出に残る貴重な一日でした】